

take out  
a trademark

# 商標 とれたて

## 人と自然を守る 秋田杉葉由来の除菌エタノール

医療や研究用の検査機器や試薬・システムの提案、介護用品の販売、サプリメント開発等の事業を広く手がける株式会社サノ。「より温かく よりクリーンに」をスローガンに掲げる同社は、秋田ならではの除菌商品を開発し、昨年12月、ロゴマークを含む商標「杉の雫」(商標登録第6481064号)が商標登録された。



リビングやキッチン、子ども部屋や外出時等のあらゆるシーンでの除菌に使用できる。

### 秋田杉葉に付加価値を

「杉の雫」は、株式会社サノが、秋田県総合食品研究センターが開発した技術をもとに商品化した除菌スプレーだ。秋田杉葉由来の消毒作用を持つ成分の効果により、一般的な除菌エタノールよりも低いアルコール含有率で除菌効果を得られるのが同商品の特長で、香りも秋田杉葉由来だ。開発を担当した同社の高嶋亜希子さんは、サプリメント等の食品開発の経験を持つが、新分野の商品開発にあたって、検討段階から活性化センターの知財・デザイン支援課に相談。県内の酒類製造会社に製造を委託し、秋田県発の技術をオール秋田で商品化した。同社の系列薬局のほか、カフェや雑貨店、アウトドアショップなどでの販売を予定している。

「これまで廃棄されていた杉の葉を活用し、付加価値を付けて商品化することは、SDGsにもつながります。杉葉の香りのリラックス効果や、商品の除菌効果は確かなものですが、商品化へ向けて最も考えた部分は、その機能を正確に伝え、価値に共感を得るための表現や方法でした」。



### 商品価値を伝える

同社では、「カラダに、こころに、自然にやさしい」という商品コンセプトと、「子どもを守るお母さん」という主ターゲットのイメージを定め、ネーミングとパッケージについてデザイン会社からの提案を求めた。活性化センターの知財総合支援窓口と弁理士相談を活用して自社で商標調査を行い、商品名とパッケージを決定。薬局向けには機能性を、一般店舗向けにはストーリー性を重視したリーフレットをそれぞれ制作し、商品価値の伝え方に工夫を凝らしている。杉葉を有効活用して森づくりや林業への貢献につなげる、というストーリー性を訴求したリーフレットは、デザイン相談員に相談しながら、インターンシップの学生とともに内製した。

同社は、SDGsに全社を挙げて取り組む「サノSDGs宣言」を掲げ、秋田県のSDGsパートナーにも認定されている。



同商品の収益の一部は植林活動に寄付し、環境保全に役立てる方針だ。「エシカル消費やSDGsに関心のある方にも共感していただけたら嬉しいです」。

### 株式会社サノ

〒010-0061 秋田県秋田市卸町3丁目4-2 (本社)  
TEL.018-862-6644 FAX.018-862-6646  
<https://www.sano-co.com>



#### ●会社概要

医療・工業・理化学・介護福祉分野の各種機器・試薬・消耗品・システム提案、廃棄物処理、サプリメント開発・支援等

開発推進部  
食品開発課 課長代理

高嶋 亜希子

たかしま あきこ

